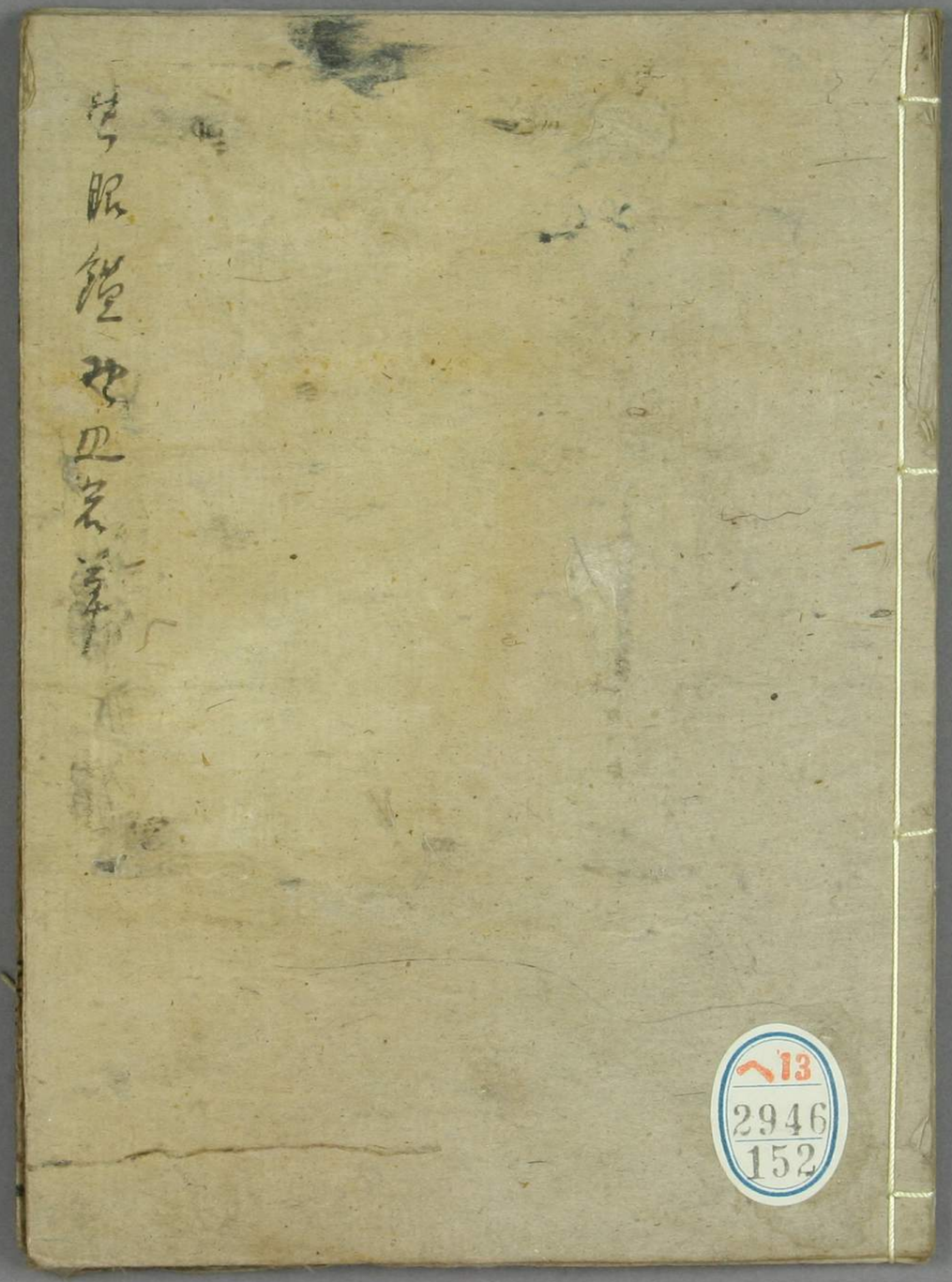

へ13
2946
152

152
へ13 特 2957
へ13 特 2946 152

尺蠖の屈まるは伸んと欲する所の為也一寸の虫にも五分の魂小念慮をかくれば終に登一元の桟をたのもしく蚯蚓の木昇堪の力持なく彼木井ふみ昇はなく蛙なくして牛勉るとも口縄をはめこむ支なの事なり支なの犯。あるゝ虫と

辰之春

牲
馬
蝸

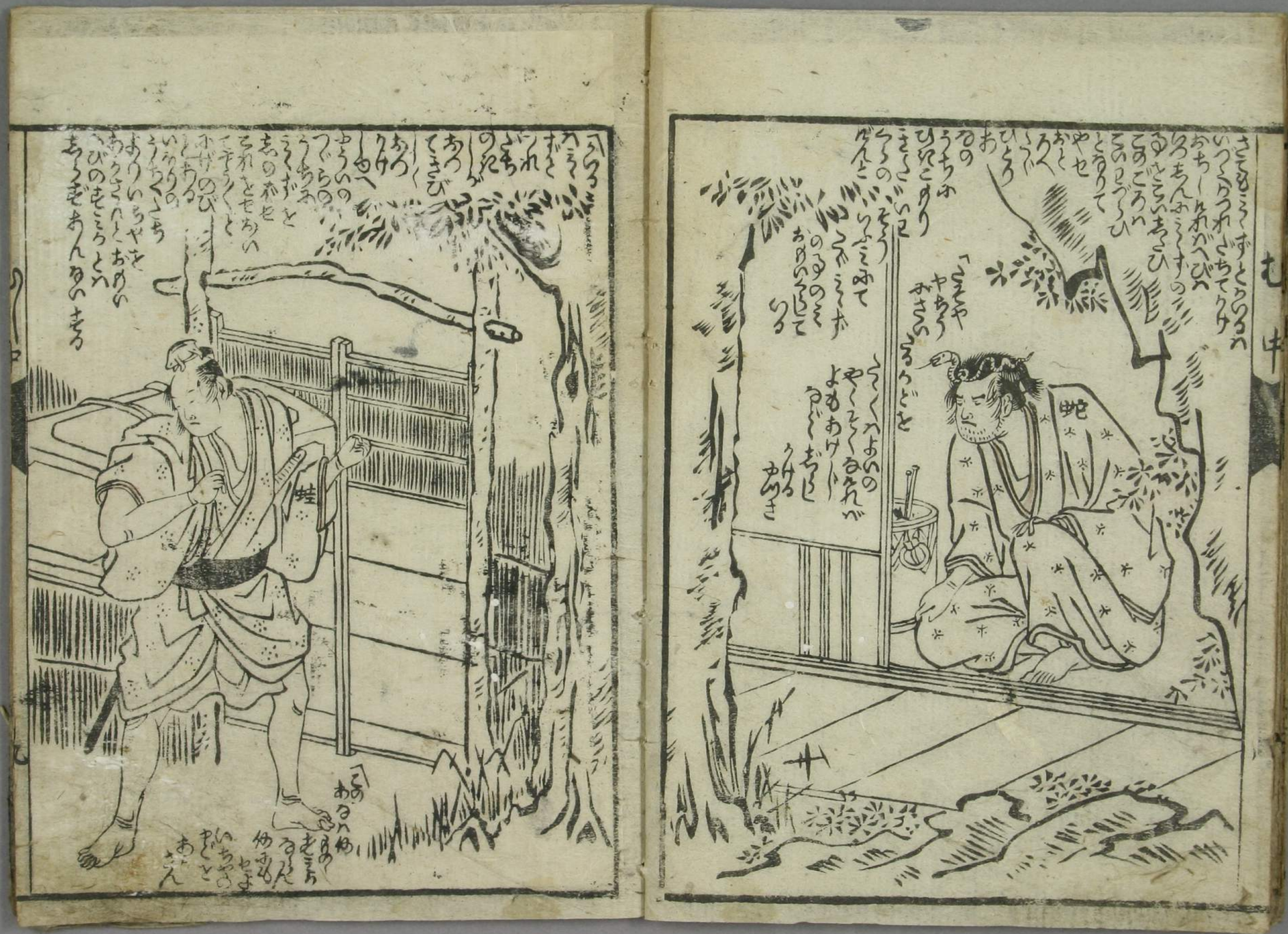
一遍又

蛇
蛇

蛇
蛙

蛇

蜂
蚊


蛇
蛙

蛇
蛇

蛙
蛙

一九画